

令和 6 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
「多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究」 分担研究報告書

東京都の肝 Co の養成とスキルアップ方法の全国均てん化と標準的評価方法の確立

研究分担者：芥田 憲夫 虎ノ門病院 肝臓疾患相談センター長 肝臓内科 部長
研究協力者：寺本 いずみ 肝疾患相談センター室長

研究要旨：東京都における肝炎医療コーディネーターの養成とスキルアップについて、これまでの人材育成の制度および研修内容の変遷を把握した。都は 2011 年より職域対象に人材育成を行い、職域における受検、受診、受療を推進してきた。2022 年度受講対象を医療従事者、区市町村、職域、患者団体へ広げ、肝炎コーディネーターは 2014 年度～2023 年度までに累計 1,422 人認定された。技能向上を目的としたスキルアップ研修は 2020 年度開始し 2023 年度までの受講者は 433 人であった。肝炎コーディネーターが患者支援に意欲的に取り組めるよう、コーディネーターを支える仕組みづくりのために、今後、自治体と拠点病院との連携体制の強化が望まれる。

A. 研究目的

都の肝炎対策指針に基づいた人材育成の状況と課題を把握し、全国の肝炎医療コーディネーターの養成・スキルアップの方法の均てん化の検討に繋げる。

B. 研究方法

厚生労働省肝炎対策推進協議会資料、および東京都ウイルス肝炎対策協議会、拠点病院保管資料を使用し、ウイルス性肝炎患者を支援する人材育成について抽出し経時的にまとめる。

（倫理面への配慮）本研究において、個人情報および医療情報の取得はおこなっていない。

C. 研究結果

1) 肝疾患職域コーディネーターから肝炎コーディネーター養成へ

2007 年の東京都の調査（IFN 治療の医療費助成を申請した都民：回答者 1,552 人）のうち、HCV 陽性判明の契機について 20.2%が職場健診であった。2007 年から 5 年間実施

した東京都ウイルス肝炎受療集中戦略において、2011 年より職域対象に「ウイルス肝炎基礎セミナー」を開始。2014 年度より、併せて肝疾患職域コーディネーターの認定を開始し、職域における受検、受診、受療の推進をおこなってきた。2021 年までに基礎コース受講者 679 人、肝疾患職域コーディネーター認定者 560 人であった。2022 年度肝炎対策指針の改定を機に肝炎コーディネーター（肝炎医療コーディネーター：医療機関従事者、肝炎対策コーディネーター：区市町村、職域、患者団体）と対象が広がった。同年、肝炎医療コーディネーター 286 人、肝炎対策コーディネーター 196 人があらたに認定され、2014 年度～2023 年度までの肝炎コーディネーター認定者は累計 1,422 人であった。技能向上を目的としたスキルアップ研修について、2020 年度より実施、2023 年度までの受講者は 433 人。2024 年度、コーディネーターの活動支援として、交流会を 2 回開催し、医療コーディネーター、対策コーディネーターの各取り組み事例を共有しグループワークをおこなった。

2) 研修内容

- ① 東京都の肝炎対策、医療費助成制度等について
- ② ウイルス性肝炎の基礎知識と受検勧奨
- ③ 肝炎患者の精神的ケアとその家族の悩みへの対応
- ④ 治療継続のための職場環境、職域健診
- ⑤ 肝炎患者の声

2019 年まで、平日午後 2 日に分け、ロールプレイングやグループワークを実施した。2020 年より、全体で 3 時間強の講義を期間限定オンデマンド配信受講の形式とし、受講者は 2019 年度 62 名から 121 名、2021 年度 124 名と倍増した。

3) 活動状況

都は毎年、認定者を対象にアンケート調査を実施しているが結果は公開されていない。

D. 考察

都はこれまで国の肝炎対策指針に基づき、その時代に即した形式で人材育成を実施してきた。今後、肝炎コーディネーターがそれぞれの立場でどのような活動ができているか、どのように生かしていくか、コーディネーターが増えたことによる利点を今後長期的に調査する必要がある。

E. 結論

肝炎コーディネーターが患者支援に意欲的に取り組めるよう、コーディネーターを支える仕組みづくりのために、今後、自治体と拠点病院との連携体制の強化が望まれる。

F. 政策提言および実務活動

<政策提言>

なし

<研究活動に関連した実務活動>

2023/5/10 キックオフミーティング (芥田憲夫、寺本いずみ)

2023/9/4 第 1 回肝 Co 部会 (寺本いずみ)

2023/9/13 第 1 回班会議 (芥田憲夫、寺

本いずみ)

2023/10/1 市民公開講座 (院内コーディネーター有志参加)

2023/12/27 第 2 回肝 Co 部会 (寺本いずみ)

2023/11/8~12/6web 配信 令和 5 年度東京都肝炎対策コーディネーター養成研修会「ウイルス性肝炎の基礎知識と受検・受診勧奨の必要性」(芥田憲夫)

2023/11/8~12/6web 配信 令和 5 年度東京都肝炎医療コーディネーター養成研修会「肝炎患者の精神的ケアとその家族の悩みへの対応」(寺本いずみ)

2024/1/18 第 2 回班会議 (芥田憲夫、寺本いずみ)

2024/2/16 令和 5 年度肝疾患コーディネーターセミナー「押さえておきたい肝疾患患者の支援のポイント」(寺本いずみ)

2024/5/17 院内医療費助成勉強会「押さえておきたい肝疾患に関する医療費助成制度」(寺本いずみ)

2024/7/14 肝疾患診療連携研修会「脂肪性肝疾患診療は多職種連携と個別化医療の時代にー肝硬変成因別実態調査から見る今後の展望ー」(芥田憲夫)

2024/7/16 肝炎啓発イベント実施.啓発グッズ&ニュースレターの配布.虎の門病院分院 (芥田憲夫、寺本いずみ)

2024/7/26 肝炎啓発イベント実施.啓発グッズ&ニュースレターの配布.虎の門病院本院 (芥田憲夫、寺本いずみ)

2024/11/10 肝臓病教室「脂肪肝おこまり事例紹介～大質問大会～東京肝臓友の会コラボ企画～」(芥田憲夫、寺本いずみ)

2024/10/13 肝疾患診療連携研修会「治療の後押しとなる医療費助成制度活用の支援～当院における肝炎医療コーディネーター介入の実際」寺本いずみ)

2024/11/13~12/9web 配信令和 5 年度東京都肝炎対策コーディネーター養成研修会「ウイルス性肝炎の基礎知識と受検・受診勧奨の必要性」(芥田憲夫)

2024/11/13~12/9web 配信 令和 6 年度東京都肝炎医療コーディネーター養成研修会「肝炎患者の精神的ケアとその家族の悩みへの対応」(寺本いずみ)

2024/11/23 市民公開講座 (院内コーディネーター有志参加)

2024/11/25～12/1web 配信令和 6 年度肝疾患コーディネーターセミナー「かながわ肝疾患コーディネーターの役割と当院の活動」（寺本いずみ）

2024/12/15 令和 6 年度滋賀県肝炎医療コーディネーター養成研修および滋賀県肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業における多職種コーディネーターの活動と肝疾患相談センターの役割について」（寺本いずみ）

2025/3/25 第 2 回肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業についての研修会（熊本大学病院主催）「本院での取り組みについて」寺本いずみ）

G. 研究発表

1. 論文発表

無し

2. 学会発表

寺本いずみ、芥田憲夫、森下裕美子、喜多島優子、千代美香、鈴木義之. 当院における肝炎訴訟関連検査の対応～肝炎医療コーディネーターによる支援の意義～. 肝臓 64 巻 Suppl. 3 Page A816. 2023

寺本いずみ、芥田憲夫、森下裕美子、喜多島優子、千代美香、鈴木義之:肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業における多職種コーディネーターの活動と肝疾患相談センターの役割.肝臓 65 巻 Suppl. 1 Page A244. 2024

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし